

風水害に備えよう 自助・共助・公助の輪

災害による被害を最小限に抑えるためには、「自分の命は自分で守る」という「自助」の精神と、「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」の精神が非常に重要です。特に、集中豪雨や土砂災害などについては、市民の皆さんが自ら気象や避難に関する情報を積極的に収集し、速やかに身を守る行動を取ることが大切です。

口うるから備えることで、被害を最小限に食い止めるように、防災についても一度考えてみましょう。

いつでもどこから始めよう

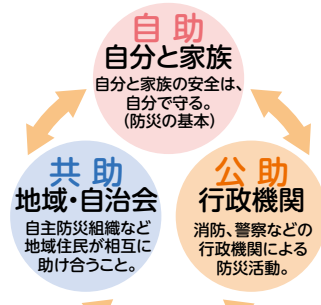
もしもの時に備える

いつ起きるか分からない災害の被害を最小限にとどめるために、非常持出品の準備・避難場所・自宅周辺の備えを確認しておきましょう(※1)。普段から点検し、問題がある場合には改善しておきましょう。

今回は、防災情報の入手方法を中心に、日ごろからできることや、もしもの時の避難方法を紹介します。

気象情報を常に確認する

気象台では、警報と注意報を市町ごとに発表しています。また、その前段階と



※阪神・淡路大震災発生直後の救助活動は約9割が、「自助」と「共助」によるものでした。

して注意を促したり、警報、注意報を補充したりするため、気象情報を提供しています。テレビやラジオなどで提供されるこれらの情報を正しく理解し、活用しましょう(下の図)。

▽注意報 災害が起こる恐れがある予想される場合。
▽警報 重大な災害が起こる恐れがあると予想される場合。

▽特別警報 警報の発表基準をはるかに超える豪雨や暴風などが予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合。

特別警報の発表基準は、大雨特別警報の場合、台風

や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合です。

特別警報が発表されたら、経験したことのないような異常な現象が起きそうな状況です。ただちに命を守る行動を取ってください。この数十年災害の経験がない地域でも、災害の可能性が高まっています。油断しないでください。

また、竜巻(8ページ)・土砂災害(8ページ)に関するポイントについても紹介しますので、身を守るために活用してください。

気象台が発表する気象情報(大雨)

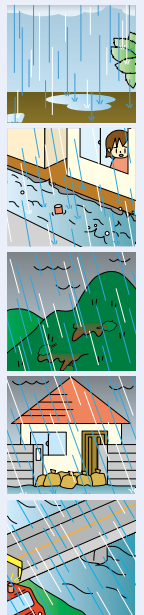


気象情報を正しく理解するために

テレビやラジオなどで提供される気象情報を正しく理解し活用するために、風水害に関する気象用語について解説します。

雨の強さと降り方

- やや強い雨(1時間に10~20mm) 地面一面に水たまりができ、雨の音で話し声がよく聞き取れなくなります。長雨になりそうなら、注意が必要です。
- 強い雨(1時間に20~30mm) 「土砂降りの雨」です。傘を差していてもぬれてしまうほどです。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まります。
- 激しい雨(1時間に30~50mm) 「バケツをひっくり返したような雨」です。覆っている人の半数くらいが雨に気が付き、がけ崩れ、山崩れなどが起きやすくなります。
- 非常に激しい雨(1時間に50~80mm) 「滝のような雨」です。水しぶきで通り一面が白っぽくなり、視界が悪くなります。傘が全く役に立たなくなり、浸水など多くの災害が発生する可能性があります。
- 猛烈な雨(1時間に80mm~) 猛烈な雨により、息苦しくなるような圧迫感があります。雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。



※1 詳しくは、広報うつのみや1月号・6月号、わが家の防災マニュアル(市ホームページからも閲覧可)などをご覧ください。わが家の防災マニュアルは、各地域自治センター・地区市民センター・出張所などにも置いてあります。

正しい情報を迅速に入手しよう

防災情報を入手する

災害時に、より多くの市民の皆さんが迅速かつ確実に情報を収集する手段として、防災情報の登録制メールや緊急速報メールがあります。

■防災情報の登録制メール

本市では、市に關係する防災情報など、事前に登録した人へのメール配信を行っています。配信する情

報は次の通りです。

- ▽気象警報や土砂災害警戒情報など気象に関する情報
- ▽宇都宮市域における、避難準備情報・避難勧告・避難指示などの情報
- ▽その他、市が必要と認められた情報

■緊急速報メール

▽内容 地域の広い範囲を対象とする避難準備情報・避難勧告など。
▽その他 市内の携帯電話

防災情報 メール配信サービスの登録方法

1 市の携帯電話用ホームページ <http://utsunomiya.mw.jp/mobile/> にアクセス。



▲携帯サイトQRコード

2 トップページ内の「メール配信サービス」を選ぶ。

3 「登録はこちら」を選ぶ。

4 宛先が自動的に入力されるので、空メールを送信。

5 しばらくすると市からメールが届く。

6 メールを開くと、「下記のURLにアクセスしてください」と表示されるので、選んでアクセス。

7 メールで受け取りたいサービスを、「不審者情報」「消防出動情報」「防災情報」の3つから選ぶ。

8 「登録」を選んで完了。

災害時などの公共交通の運行状況の確認

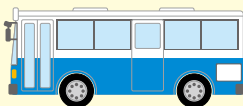
災害時は運行が遅延したり、運休になる場合があります。各社のホームページをご覧になるか、電話でお問い合わせの上、ご利用ください。

■バス

▽関東自動車 ホームページ

<http://www.kantobus.co.jp/>

●本社 ☎(634)8133 (月～金曜日＝午前9時～午後5時40分)、築瀬営業所 ☎(633)3482 (午前8時～午後8時)、駒生営業所 ☎(652)4795 (午前7時～午後9時)、宇都宮営業所 ☎(647)1181 (午前5時～午後9時)



▽東野交通 ホームページ <http://www.toyal08.jp/>

●本社 ☎(662)1080 (月～金曜日＝午前9時～午後5時20分)、本社営業所 ☎(661)2251 (午前8時～午後8時)

▽JRバス関東

●宇都宮支店 ☎(687)0671 (午前9時～午後5時30分)

■鉄道

▽JR東日本 ホームページ

<http://www.jreast.co.jp/>

●お問い合わせセンター ☎050(2016)1600 (午前6時～午前0時)

▽東武鉄道 ホームページ <http://www.tobu.co.jp/>

●お客さまセンター ☎03(5962)0102 (年末年始を除く午前8時30分～午後7時)



へ、一斉配信します。事前登録の必要はありませんが、携帯電話の機種や通信状況、災害の状況などにより、配信されない場合があります。■その他市からの情報 避難所の開設状況や災害の影響に伴うライフライン情報などを、とちぎテレビ・栃木放送・エフエム栃木などのメディアへ、随時、情報提供します。また、ホームページや携帯サイト、とちぎテレビのデータ放送を活用して、災害情報をお知らせします。さらに、風水

害や土砂災害の危険が迫っている場合、避難に関する情報を状況の深刻度に応じて発令します。次の発令内容に応じて8ページを参考に安全に避難してください。1 避難準備情報(要配慮者避難) 人的被害が発生する危険性が高まった状況。▽避難に時間が掛かる高齢者や障がい者などの要配慮者とその支援者は避難を開始してください。▽通常の避難行動ができる人は、非常持出品の用意などの避難準備を開始してく

ださい。2 避難勧告 人的被害が発生する危険性が高まった場合。▽対象地域の市民の皆さんに避難場所などへの避難を勧めます。3 避難指示 人的被害が発生する危険性が非常に高まった、またはすでに人的被害が発生した状況。▽いまだに避難していない市民の皆さんは、直ちに避難に移るとともに、そのいとまがない場合は、命を守る最低限の行動をしてください(8ページ参照)。

●県林業センター公開デー ▽日時 8月20日(土)午前10時～午後3時 ▽会場 県林業センター(下小池町) ▽内容 今回初のツリークライミングをはじめ、高性能林業機械操作体験や狩猟模擬体験、親子木工教室、クイズラリーなどの参加・体験イベントの他、チェーンソーによる木の彫刻、木工品・革細工の販売や、飲食物・農産物の販売、ブルーベリー苗木プレゼントなど。●県林業センター ☎(669)2211

風水害に遭遇したら

安全避難のポイント

■安全な服装で、持ち物は最小限に ヘルメットで頭を保護し、ひもで締められる運動靴を履きましょう。荷物は必要品のみとし、背負って、両手が使えらるようにしなす。

■靴は動きやすいものを だけは怪我をしたり、長靴は足を取られたりする危険性があります。ひもで締められる運動靴を用意しなす。

しよう。

■車は使わない 車は数十センチの浸水でも浮いてしまうので危険です。他の避難者や緊急車両の妨げにもなるので、徒歩で避難しなす。また、車を放置せず、なるべく道路の端に止めておきましょう。

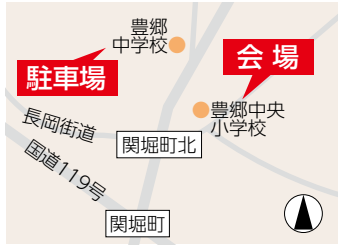
■歩ける深さの時に動く 大人でも浸水が50センチメートルを超えてからの歩行は危険です。避難をする際は、早めに避難しなす。

市総合防災訓練

万一の大災害発生に備えるため、防災訓練を行います。各種訓練や非常食の無料配布を行いますので、見学にお越しください。

▽日時 8月20日(土)午前9時~正午。
▽会場 豊郷中央小学校(関堀町)。
▽内容 自主防災会や防災関係機関の参加による救出訓練、炊き出し訓練、避難所訓練や市民の皆さんの参加による地震体験など。

▽その他 会場には見学する人の駐車場はありません。お車でお越しの場合には、豊郷中学校(関堀町)に駐車してください。なお、駐車場の利用時間は午前8時~午後1時です。また、駐車場の台数に限りがありますので、乗り合いや公共交通機関をご利用ください。



- 3 ④ 危険管理課 ☎(632) 205
- ⑤ 命を守る最低限の行動
- 危険な状況の中での避難行動はできるだけ避け、安全確保を第一に考えなす。避難場所への移動(水平避難)だけでなく、自宅や近くの頑丈な建物の2階以上へ緊急的に避難(垂直避難)し、救助を待つことも検討してください。
- ⑥ ロープを使って体をつなぐ はぐれないようにお互いの体をロープで結んで避難しなす。特に子どもから目を離さないようにしなす。
- ⑦ 隣近所で声を掛け合う 避難は2人以上で、隣近所を誘い集団で避難しなす。高齢者や障がい者などの要配慮者に配慮しなす。
- ⑧ マンホールや側溝に注意 急激な大雨が下水管に流れ込むとマンホールのふたを開けてしまうこともありなす。マンホールや側溝への転落に十分注意しなす。長い棒などを使用し、確認しながら歩行しなす。

土砂災害の危険信号

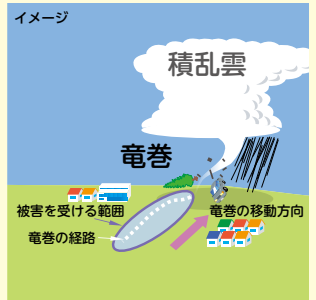
土砂災害とは、土砂の移動が原因となる自然災害のことです。集中豪雨などを原因とする土砂災害はもちろん、近年は大規模な地震に伴い土砂災害が発生するケースも多く見られます。

■土砂災害の前兆に注意 避難勧告が出なくても、以下のような危険を感じたら、周囲の人に知らせて自主的に避難しなす。

- ▽雨が降り続けているのに、川や沢の水が減る。
- ▽川の流れが濁り、木が流れてくる。
- ▽小石がパラパラ落ちてくる。
- ▽山鳴りがする。
- ▽斜面から水が湧き出ている。
- ▽地面にひび割れができる。

■土砂災害から身を守る 大雨が一番強く降ってから1時間以内、または3・4時間後を中心にがけ崩れなどの土砂災害が発生しやすくなります。しかし、これは目安であって、この時間を過ぎても土砂災害が発生しないとは言い切れません。状況を把握し、適切な対応や避難を行なす。

竜巻のポイント



竜巻注意情報が発表された場合は、空が急に真っ暗になったり、大粒の雨や雷、「ひょう」が発生したりするなどの前兆があるので、周囲の状況に注意してください。万が一、竜巻が発生した場合は、次の方法により身を守る行動をとってください。

■屋内にいる場合

- ▽雨戸、窓、カーテンを閉め、窓から離れる。
- ▽窓のない部屋がある場合、移動する。
- ▽丈夫な机やテーブルの下に入って身を守る。

■屋外にいる場合

- ▽物置や車庫など飛ばされる恐れがある建物や電柱や樹木など倒れる恐れがあるものから離れる。
- ▽丈夫な建物に避難し、身を小さくする。
- ▽周囲に建物がなければ、うずくまって両腕で頭や首を守る。

◎農業試験場公開デー ▽日時 8月27日(土)午前9時~午後2時 ▽会場 県農業試験場(瓦谷町) ▽内容 研究成果の紹介、研究施設・ほ場の公開、農作物の栽培相談など。 ☎県農業試験場 ☎(665) 1241

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用無料、申込不要。
 ④ 地区市民センター、⑤ 出張所、⑥ 生涯学習センター、⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿